

鈴木明彦¹・坂巻幸子²：与那国島ナーマ浜へ打ち上げられたナンヨウクロミナシAkihiko SUZUKI¹ and Sachiko SAKAMAKI² : The Marbled Cone, *Conus marmoreus*, stranded on Nama beach, Yonaguni-jima, Yaeyama Islands, southwestern Japan

ナンヨウクロミナシ *Conus marmoreus* Linnaeus は、イモガイ科に属する巻貝で、太平洋～インド洋の暖流域に分布している (Röckel, D., et al. 1995; Abbott and Dance 2000; Duda and Kohn 2005). 日本周辺海域では、本種は奄美群島以南に分布することが知られている (堀 2000; 奥谷 2004). 今回、与那国島ナーマ浜 (北緯24° 26′ 55″, 東経122° 56′ 27″) で、ナンヨウクロミナシの打ち上げを確認したので報告する。

2004年5月18日、著者のうち坂巻は、与那国島ナーマ浜で打ち上げられたナンヨウクロミナシを採集した。採集時の気象状況は、天候は大雨のち時々曇、降水量85.0mm、平均気温26.4℃、北北東の風、平均風速3.3m/s、最大風速7.9m/s、最大瞬間風速10.4m/sであった (気象庁ホームページ)。熱帯系種子や暖流系貝類などの漂着物とともに、波打ち際に打ち上げられていた。

本標本は、ほぼ完全な貝殻で、殻長101.3mm、殻幅52.5mm。螺塔は低く、肩部に大型の結節が並び、体層の側縁は直線的である。殻は黒色地に三角形の白色テント斑が均一に分布する。殻口の内面は肌色で、殻皮は薄く黄褐色を示す。

今回得られたナンヨウクロミナシは殻長100mmを越える大型の個体で、通常は50～80mm程度である。打ち上げ貝でこのような個体が採集されたのは稀なので、貴重な打ち上げ例として記録する。また、本種の近縁種クロミナシ *Conus bandanus* Hwess は、日本列島では沖縄より北の奄美大島、紀伊半島、八丈島などでも確認されている (肥後・後藤 1993; 堀 2000; 奥谷 2004)。両種の分布は沖縄周辺では重なっている (黒田 1960; 肥後・後藤 1993; Hendricks 2012) が、実際の共産関係については不明で、今後の課題といえよう。

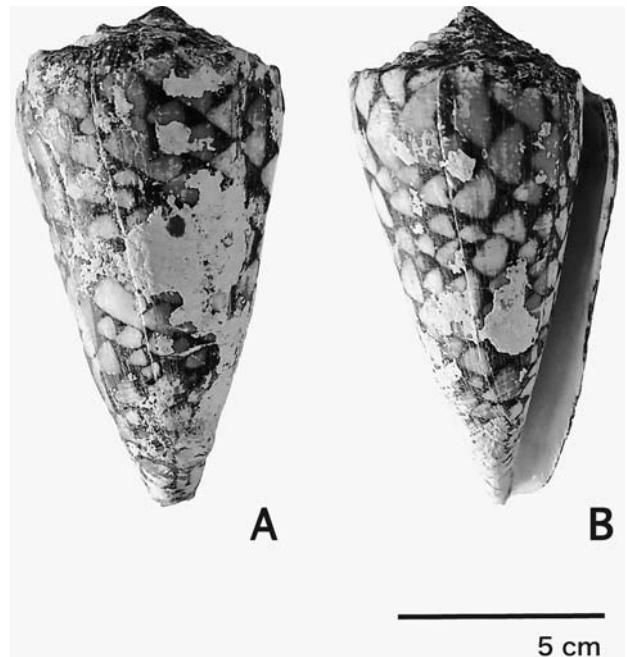


図1 与那国島ナーマ浜に打ち上げられたナンヨウクロミナシ。

引用文献

- Abbott, R.T. and Dance, S.P. 2000. *Compendium of Seashells*. 411pp., Odyssey Publishing, New York.
- Duda, T. F. and Kohn, A. J. 2005. Species-level phylogeography and evolutionary history of the hyperdiverse marine gastropod genus *Conus*. *Molecular Phylogenetic Evolution*, 34: 257-72.
- Hendricks J. R. 2012. Using marine snails to teach biogeography and macroevolution: the role of larvae and dispersal ability in the evolution and persistence of species. *Evolutionary Education Outreach*, 5: 534-540.
- 気象庁 HP (<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/view/>) (2017年2月1日閲覧)
- 黒田徳米 1960. 沖縄産貝類目録. 104pp., 琉球大学教務部普及課, 那覇.
- 肥後俊一・後藤芳央 1993. 日本及び周辺地域産軟体動物総目録. 693pp. エル貝類出版局, 八尾
- 堀 成夫. 2000. イモガイ科. 奥谷喬司 (編著). 日本近海産貝類図鑑, pp. 587-619. 東海大学出版会, 東京.
- 奥谷喬司. 2004. 世界文化生物大図鑑 貝類 (改訂新版). 340pp., 世界文化社, 東京.
- Röckel, D., Korn, W. and Kohn, A.J. 1995. *Manual of the living Conidae*. Vol. 1: Indo Pacific Region. 517pp., Christa Hemmen, Wiesbaden.

(Received Mar. 5, 2017; accepted Apr. 15, 2017)

¹北海道教育大学札幌校地学研究室 〒002-8502 札幌市北区あいの里5-3-1

¹ Department of Earth Science, Sapporo Campus, Hokkaido University of Education, 5-3-1 Ainosato, Kita-ku, Sapporo 002-8502, Japan

² 〒709-0413 岡山県和気郡和気町泉90-1

² 90-1 Izumi, Wake-cho, Wake-gun, Okayama 002-8502, Japan